

令和元年度 日立市総合教育会議

令和元年10月25日（金）

日立市役所 庁議室

日立市教育大綱の改訂について

1 教育大綱の改訂に係る基本的な考え方

- (1) 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、本市の教育が目指す基本的な考え方を示す総合的な施策の大綱を市長が定めます。
- (2) 基本理念：未来を拓く人づくり
- (3) 教育の基本となる内容には普遍性があることから、柱となる部分（骨子）については、現行の大綱を継続します。
- (4) 近年の教育を取り巻く環境の変化等を踏まえ、内容の一部を修正します。
- (5) 教育に関する計画との整合を図ります。
- (6) 計画期間：令和元年度から令和5年度まで

2-1 目標

笑顔・元気、そして未来へ

子どもたちの夢が、まちの未来を拓きます。

ひたちらしさを活かした教育で、大きな可能性を伸ばしたい。




まち全体で、子どもたちの笑顔と元気を育みます。



2-2 目標・3つの柱

笑顔・元気、そして未来へ



-  **家族が好き** ～愛情を感じながら、健やかに育つ～
-  **学校が好き** ～なりたい自分を夢見て、主体的に学ぶ～
-  **ひたちが好き** ～まちのいいところを発見して、未来を描こう～



家族が好き

～愛情を感じながら、健やかに育つ～

安心して子育てができる環境を整え、子どもたちの健やかな心と体を育む
家庭の教育力の向上を目指します。





学校が好き

～なりたい自分を夢見て、主体的に学ぶ～

夢や希望をもち、グローバル化や技術革新の進む時代を生き抜くための確かな学力を育む教育を目指します。



◆ 友だちが好き 【みんなと一緒にだから、毎日が楽しい】

いじめをなくし、不登校を生まないために、お互いが認め合い、未来への夢を描くことができる子どもたちを育てます。

◆ 先生が好き 【愛情と熱意があふれる、授業は楽しい】

生き生きと充実して、先生が子どもたちに向き合うことができる環境を整えます。

🌸 ひたちが好き

～まちのいいところを発見して、未来を描こう～

海と山に恵まれた豊かな自然、歴史や伝統・文化など、
ひたちのルーツを学び、郷土を誇りに思う教育を目指します。



3-1 施策の方向性 ～推進テーマ～

- 1 いいところ発見 夢づくり 【学校教育】
- 2 ゆたかな学び 未来につなぐ 人づくり 【生涯学習】
- 3 楽しくスポーツ 活カづくり 【スポーツ】

3-2 施策の方向性 いいところ発見 夢づくり 【学校教育】

子どもたちの自己肯定感を高めるとともに、確かな学力の育成に取り組み、家庭や地域との連携を深めながら、未来への夢を描く能力や姿勢を育てる学校教育を推進します。

施策の柱

- ① **確かな学力の定着と活用する力の育成**
(分かりやすい授業の構築、新学習指導要領への対応<英語・プログラミング>)
- ② **子ども一人一人に寄り添う教育の推進**
(教育相談体制の充実、特別支援教育の振興)
- ③ **豊かな心と健やかな体を育む教育の充実**
(郷土への誇りの育成、部活動の振興、学校給食の充実・給食費の助成)
- ④ **次代を担う力を磨き高める教育の推進**
(科学学習の推進、ICT環境の整備)
- ⑤ **学習環境の充実と地域とともにある魅力ある学校づくり**
(学校施設の整備・環境整備、学校運営協議会制度の推進)
- ⑥ **すべての子どもたちが安全・安心に過ごせる居場所づくり**
(放課後子ども教室の推進、自主学習の場の提供)

3-3 施策の方向性 ゆたかな学び 未来につなぐ 人づくり【生涯学習】

ゆたかな学びにより培われてきた知識や技能を未来につなげられるよう、みんなで学び、共に教え合いながら、市民の誰もが生涯にわたって生き生きと過ごすことができる生涯学習を推進します。

施策の柱

- ① **地域や家庭における教育力の向上**
(家庭教育の啓発、職業探検少年団の活動支援)
- ② **市民の自主的な生涯学習活動への支援と環境整備**
(図書館サービスの向上、ひたち生き生き百年塾の活性化)
- ③ **多様な文化・芸術の推進**
(文化財保存活用地域計画等の策定<風流物・長者山遺跡等の保存と活用>)

3-4 施策の方向性 楽しくスポーツ 活力づくり 【スポーツ】

子どもから高齢者まで様々な年代の方や、障害のある方などを含めた幅広い市民を対象としたスポーツを推進し、スポーツを通じて、健康で生きがいを持って暮らせる活力ある健康都市を目指します。

施策の柱

- ① **子どもから高齢者までスポーツに親しむ環境の充実**
(市民運動公園・スポーツ広場等の施設整備)
- ② **競技力の向上とスポーツ団体等の活性化**
(スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブの活動支援)
- ③ **スポーツを通じた交流人口の拡大**
(さくらロードレース等の魅力向上、スポーツツーリズムの推進)

3-5 教育への思い



人は一生学び続けるもの。
文化や芸術、スポーツなどに親しみながら、
市民一人ひとりが輝くための「教育」を応援します。



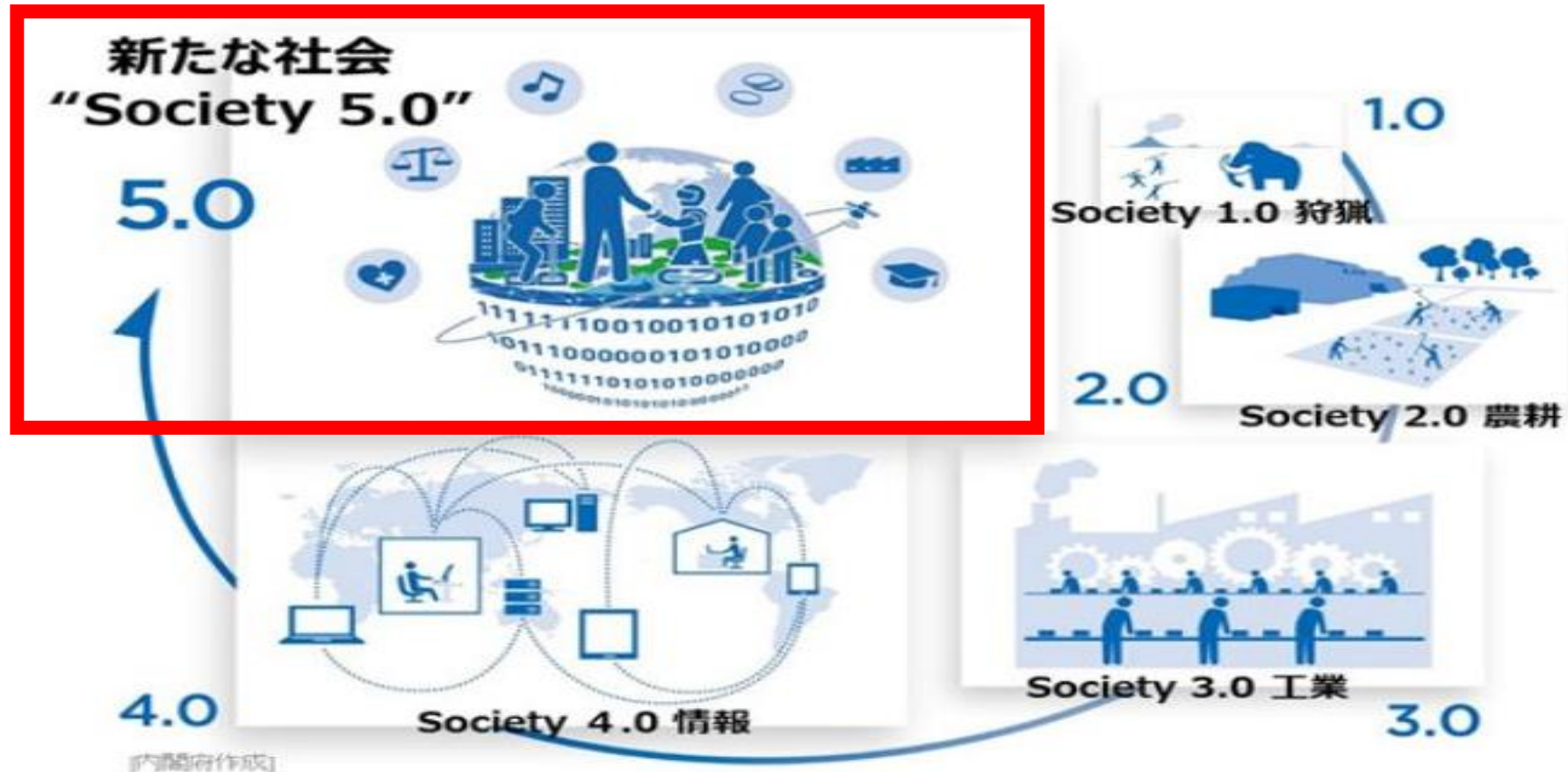
ICT機器等を活用した教育の推進について

- 1 「Society5.0」とは
- 2 ICT機器の整備状況
- 3 ICT教育の現状
- 4 プログラミング教育
- 5 まとめ

1 「Society5.0」 とは

「Society 5.0」とは

2030年頃には、IoTやビッグデータ、人工知能等をはじめとする技術革新が一層進展し、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、人類史上5番目の新しい社会であるSociety 5.0の到来が予想されている。





ソサエティ5.0「すぐそこの未来」編（90秒）＜内閣府＞

現代社会

= ICTは生活の基盤のひとつ

身の回りの便利な情報機器やサービスは、
コンピュータによって支えられている

ロボット掃除機、自動販売機、
スマートフォン、自動改札など



世の中を動かす仕組みのひとつのコンピュータを理解し、上手に活用することが重要



新学習指導要領（総則）

情報活用能力

⇒ 学習の基盤となる資質・能力

学校のICT環境整備

⇒ ICTを活用した学習活動の充実

プログラミング教育

プログラミング的思考

- ・論理的思考
- ・問題解決能力等



コンピュータのよさを知り
主体的に活用する態度を育む



教科の学びを深める



2 ICT機器の整備状況

国（文部科学省）の整備計画

ICT機器の整備①

教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）

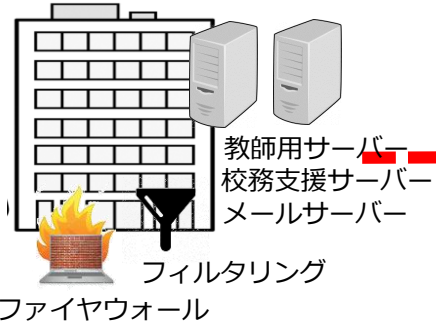
地方財政措置(交付税) 1805億円/年（2022年度まで）

整備機器等	国の目標水準	全国平均整備率	茨城県平均整備率
学習（児童・生徒）用パソコン	3人/台 (3クラスに1クラス分)	5.4人/台	5.6人/台
大型提示装置 (プロジェクター等)	100% (各クラスに1台)	51.2%	44.9%
インターネット環境 (回線速度30Mbps以上)	100%	93.4%	96.7%
普通教室無線LAN	100%	40.7%	43.6%
校務支援システム	100%	57.2%	47.4%

日立市の整備状況

整備機器等	日立市の現状	国の目標水準
学習（児童・生徒）用パソコン	7.7人/台 (1学校に1クラス分)	3人/台 (3クラスに1クラス分)
大型提示装置 (プロジェクター等)	50.0% (2クラスに1台)	100% (各クラスに1台)
インターネット環境 (回線速度30Mbps以上)	100% (回線速度100Mbps)	100%
普通教室無線LAN	35.6% (3クラスに1台(移動式))	100%
校務支援システム	100% (H30年度)	100%

ICT機器等の整備概要（案）



すぐ使える いつでも使える どこでも使える 誰でも使える

データセンター
(エイチシーネットワーク)

インターネット
(JWAY回線)

回線速度
遅い(100Mbps)
⇒ 高速化(1Gbps)



プロジェクター・書画カメラ
50%(2クラスに1台)

⇒ 100%(1クラスに1台)

児童・生徒用PC (タブレット)
7.7人/台(1学校1クラス分 (40台))
⇒ 3.9人/台(1学校2クラス分 (80台))
⇒ 2.6人/台(1学校3クラス分 (120台))

3 ICT教育の現状

日立市のICTを活用した「わかる授業」の推進

○各教科の授業でICTを積極的に活用

- ・ **プロジェクター**を使用して視覚に訴えることで、各教科の学習内容への興味・関心が高まり、意欲的に課題に取り組むことができる。
- ・ **タブレットPC**を効果的に活用することで、授業で様々な考えや意見を交換することができ、話し合い活動や言語活動を充実させることができる。

○プログラミング的思考の育成（論理的考え方の育成）



平成29年度 モデル校（諏訪小、平沢中）にプロジェクターを設置（写真は平沢中）

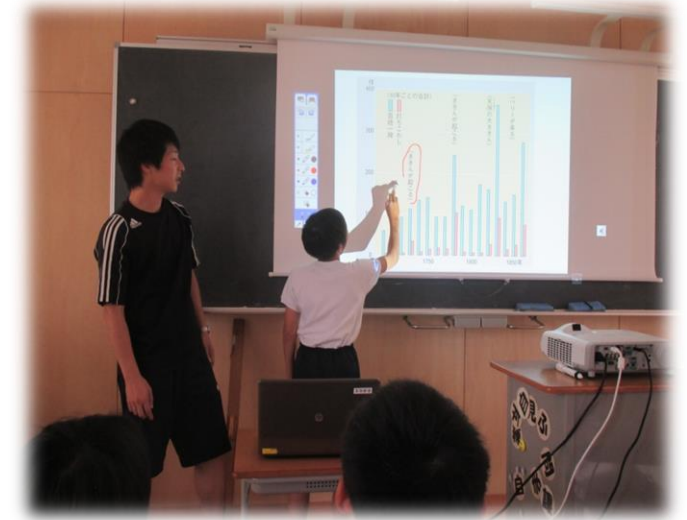
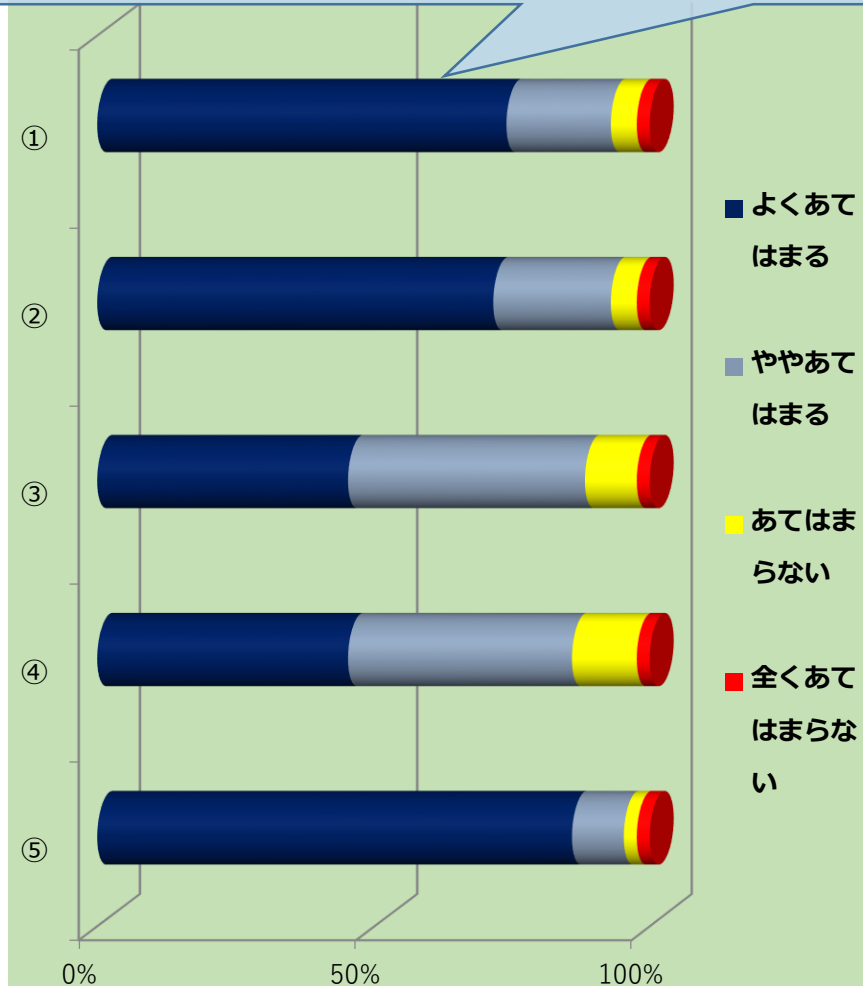
I C T 機器の活用効果に対するアンケート（児童）

平成29年度調査

対象：諏訪小学校6年生 42人

- 1 授業に参加する気持ちや学習内容への興味・関心が高まりましたか。
- 2 授業内容が分かりやすくなったり、理解しやすくなったりしましたか。
- 3 発表意欲や相手に分かりやすく伝えようとする意識が高まりましたか。
- 4 自分の考え・意見を表現する力や友だちに発表する力が高まりましたか。
- 5 今後もたくさんの教科で実施してほしいですか。

約9割以上が当てはまると回答！



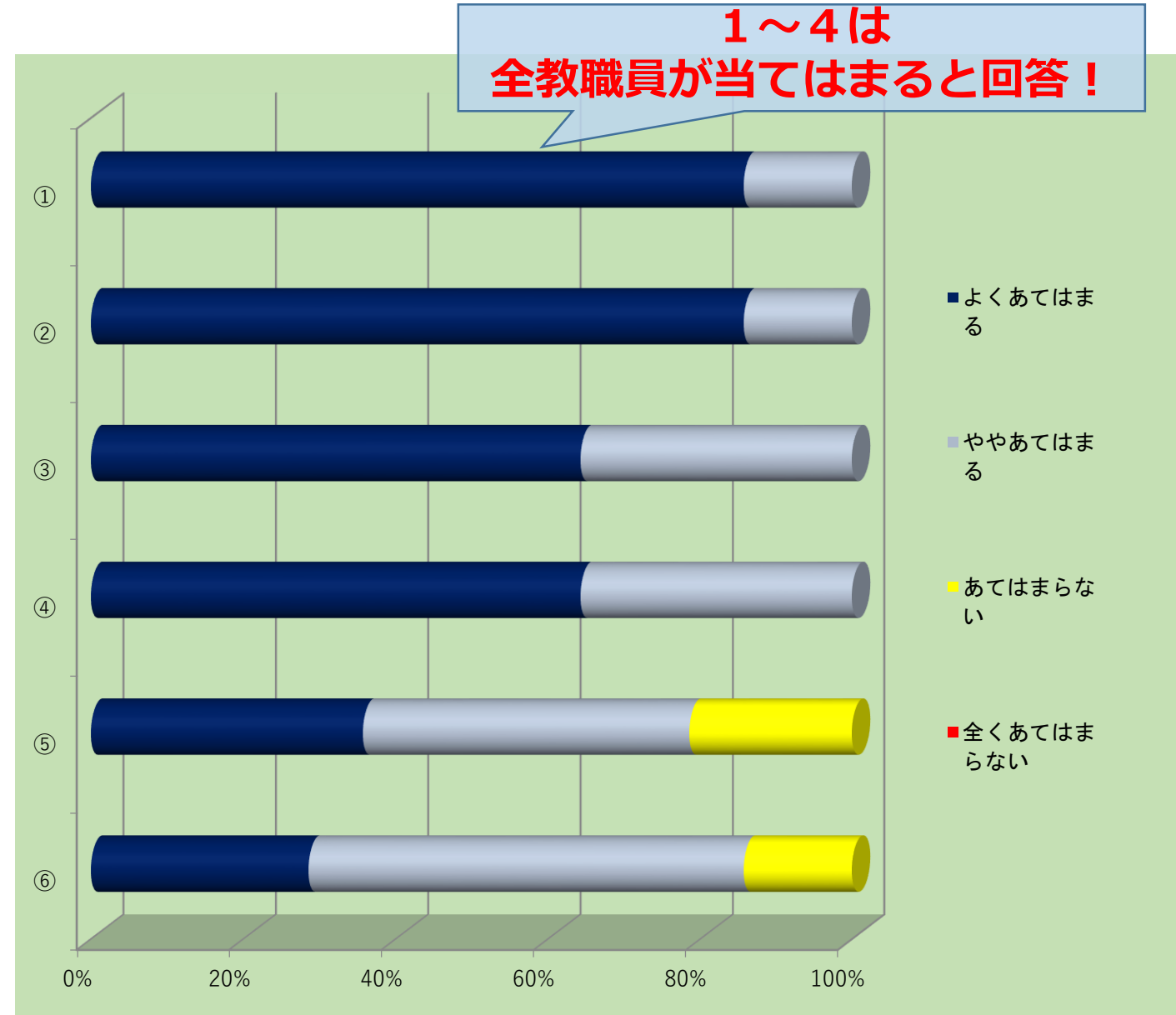
（写真は諏訪小の授業の様子）

I C T 機器の活用効果に対するアンケート（教職員）


平成29年度調査

対象：諏訪小学校教職員 14人

- 1 児童の授業への意欲や学習内容への興味・関心は高まったか。
- 2 児童が分かりやすく理解しやすい授業づくりに役立ったか。
- 3 今後も、日々の授業で電子黒板等 I C T 機器を活用していこうという気持ちが高まったか。
- 4 各教室や特別教室に I C T 機器（プロジェクターやタブレット等）が拡充されると、児童の学力向上や授業の教育的効果の向上が期待できると思うか。
- 5 児童の発表意欲や相手に分かりやすく伝えようとする意識が高まったか。
- 6 児童の考えや意見を表現する力や友だちに発表する力が高まったか。



アンケート結果の分析

- 1 **授業に参加する気持ち
学習内容への興味・関心
授業内容の理解のしやすさ** の向上  **学習意欲や理解力の向上**
- 2 映像により重要な部分を示すことで、**強く記憶に残る。**
- 3 **意見や考え方を共有**し、意見の相違を確かめることができる。
- 4 調べたことやまとめたことを**共有**して**効果的に活用**できる。
- 5 言葉だけでは理解が難しいところの**説明補助**となる。
- 6 授業準備にかかる**時間が短縮**し、授業展開が見通しやすい。

4 プログラミング教育

プログラミング教育とは①

未 来

= 子どもたちが大人になるころの社会（Society5.0）
社会の在り方そのものが劇的に変化
→ プログラミング的思考が必須

社会の担い手となるためには…

**身近な問題の解決に主体的に取り組む態度や
コンピュータを上手に活用してよりよい社会を築いていこうとする力
が求められている**

**プログラミング
教育**

- ・ 社会の担い手になるために必要な力
 - ・ I C Tを活用して問題を解決する力
- の基礎を育む



プログラミング的思考を身に付けることによって、未来の社会で活躍できる

プログラミング教育とは②

6年理科 「電気の利用」

電気の性質や働きを利用した道具が、条件を変えることにより、動作が変化することを学ぶ

プログラミング 的思考

論理的に考える力

自分が考えるように動かすためには、どのように条件を組み合わせたらいいのか論理的に考えていく

資質・能力 の育成

問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育成する

実際の授業例

6年 理科「電気の利用」

ロボット教材LEGO.WeDoを使用

電気を無駄なく使うにはどうしたらよいか考えよう

- 1 スイッチのオン・オフをプログラミングする
- 2 点灯時間を設定してオフになるプログラミングを行う。
- 3 センサーにより人の動きでオン・オフできるプログラミングを行う。
- 4 完全自動化のプログラミングを考える。

主体的・対話的で
深い学び



体験を通して考え、議論する

- 電気を無駄なく使うことについて、自分の考えをもち、そして、他者と話し合う中で考えをよりよいものにする。
- 身の回りでセンサーが使われている例を話し合う。
- どのような目的でセンサーが使われているか話し合う。

教科の目標＋プログラミング的思考

日立市のカリキュラム（案）の一例

小学校〈必修化〉令和2年度から

1年	【学活】 はみがきの仕方を考えよう 日常生活における行動を「分解」してみると、「順序」に注意して行われていることを学ぶ。
2年	【算数】 たし算とひき算のひっさん 繰り上がりや繰り下がりのある計算をするために、「順序」の考えを活用することで、筆算の手順を学ぶ。
3年	【音楽】 「地域に伝わる音楽でつながろう」 楽譜を「分解」してプログラムを作ったり、音をプログラミングすることで、そのリズムや強弱などを友達と考え「修正→再生」し、よりよいお囃子を作曲したりする。
4年	【社会】 「わたしたちの県」 タブレット上のプログラムを使い、各都道府県の特徴や名称と位置を学ぶ。
5年	【理科】 流れる水のはたらきと土地の変化 流れる水の働きが、自分たちの地域にも大きな被害を及ぼすことを学び、プログラミングで制御できる防災設備を考える。
6年	【家庭】 「夏を涼しくさわやかに」 夏の暮らしの特徴から課題を見つけ、環境に配慮した快適な住まい方を実現するためのプログラミングを考える。

日立市のカリキュラム（案）の一例

中学校〈充実〉令和3年度から

1年	【総合】「日立市の未来を考えよう」（ドローンなど） 日立市がより良い街になるために、どのような方策があるかを考え、魅力ある街づくりに寄与できることをまとめる。
2年	【技術】「エネルギー変換を利用した製作品を作ろう」（LEDライトなど） 身の回りにおけるエネルギー変換を利用した製作品の設計、制作を行う。
3年	【技術】プログラムによる計測・制御（ロボット掃除機など） 自動化されている機器の例を取り上げ、計測・制御プログラムを作成する。

※ プログラミング教育は、新たな教科が設けられるのではない。小学1年から中学3年まで全学年の既存の教科の中で、プログラミング的思考を育成する学習が実施される。

日立市の取組状況

令和元年9月現在

平成30年度	○【モデル校】プログラミング的思考を育成し、授業の質を高める研究（大みか小）
令和元年度	○【モデル校】プログラミング的思考を育成し、教科の学びを深める研究（塙山小） ○先進地視察 石川県加賀市（ロボット教材を使った教育プログラムの推進など） つくば市（カリキュラムに基づく授業の先行実施など） ○プログラミング教育の中核教員養成（小学校） ○研究・貸出用教材の購入（小学校） ○カリキュラム（令和2年1月）・授業実践事例（令和2年3月）の作成
令和2年度	○配布用教材の購入（小学校） ○研究・貸出用教材の購入（中学校） ○プログラミング教育の中核教員養成（小学校・中学校）

※ 移行期間〈H30年度～R元年度〉市町村の判断で先行して授業を実施可

他市の取組状況

令和元年9月現在

自治体名	取組内容
つくば市	カリキュラムに基づいて授業を先行実施
古河市	全校で授業を先行実施(カリキュラム作成中)
水戸市	モデル校による一部授業実施
那珂市	モデル校による一部授業実施
ひたちなか市	教育委員会で調査・研究
常陸太田市	
高萩市	

5 まとめ

- 子どもたちが大人になるころの社会 “Society5.0”
- 論理的に考える力で問題を解決 “プログラミング的思考”
- ICTを活用した分かる授業 “主体的・対話的で深い学び”

+

- ※ “豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養う”(教育基本法)



これからの時代の担い手を育てる

「未来を拓く人づくり」

